



ひこなり

文武両道

3月号
第13号
令8・2・27

気力あふれる学校

教育目標
たくましく
やさしく
かしこく



3月の行事予定

HPIはこちら



児童数 計449名 (令和8年2月27日)
1年 65名 2年 76名 3年 53名
4年 87名 5年 87名 6年 60名 けやき21名

日 曜	行事等	下校時間						放彦 クラ
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
2月	全校朝会 卒業式練習開始 新旧地区理事会☆							ヨガ バレー
3火	校内長なわ大会★(8:15~) けやき学級個人面談(~6日(金))							バド 空手道
4水	クラブ活動 校内長なわ大会予備日①★ 3年生社会科見学							バスケ
5木	個人相談【SC】9時15分~※最終 校内長なわ大会予備日②★							なし
6金	感謝の会 けやき校外学習 見守り隊会議 希望教育相談日							ハンド サッカー
7土								
8日								
9月	学期末日課開始 5・6年6時間							ヨガ バレー 卓球
10火	けやき校外学習予備日							バド 空手道 英語
11水	1・2年5時間授業 一斉下校(下校14:20)							なし
12木	卒業式予行(1~3時間目)							野球
13金								工作 PC サッカー ハンド
14土								
15日								
16月								
17火	全学年5時間授業							
18水	全学年5時間授業							
19木	全学年5時間授業 アルミ缶回収 給食最終日							
20金	春分の日							
21土								
22日								
23月	お別れ式 普通日課3時間 5年生卒業式準備							
24火	卒業証書授与式 1~4年臨時休業日							
25水	特別日課3時間 6年臨時休業日							
26木	特別日課3時間 修了式 6年臨時休業日							
3月27日(金)~4月7日(火) 学期末・春季休業日		4月6日(月) 新6年生(準備登校)						

★保護者参観可能 ☆PTAの会議前後に参観可能です。

「伝える」と「伝わる」

校長 中川 こずえ

2月中、早くも春の足音が聞こえてくるような温かい日がありました。3月は例年よりも気温が高めとのこと。子供たちの進級・卒業まで残りわずかとなりました。

先日、6年生が学年閉鎖で1・2年生が遠足だったため、校内には3・4・5年生のみという日がありました。校舎の方々から子供たちの声が響いてきたので見に行ってみると、それぞれの学年が6年生を送る会の発表の練習をしていました。

各学年の持ち時間の数分間に、6年生への感謝の気持ちをこめて伝えます。当然、数分間で伝えきれない思い出があるのですが、それをあえて数分間で伝えるからこそ強いメッセージとなって6年生に伝わるのだと感じます。

呼びかけの練習では、内容を覚える、声の大きさや早さ、分かりやすく、気持ちを込めて、間のとり方、表情などを包括的に練習していきます。子供たちは真剣で、その姿はまさに「表現者」です。特に、3~5年生はもうすぐ高学年として学校を支える役割が待っているため、さらに意欲が高まっています。やはり子供たちは役割を与えられると成長するとういことがよく分かります。

28日の6年生を送る会当日は、数分間の発表、1・2秒の言葉に、6年生への「ありがとう」をいっぱい詰め込んで、全力で伝えてくれることでしょう。それを受けて、6年生が温かい気持ちになってくれたら嬉しいです。

さて、5年生が総合的な学習の時間で、スマホでのメッセージのやり取りについて考える授業を行いました。長時間スマホを見ることによる健康被害やSNSによるつながりから事件に巻き込まれる危険については授業で取り上げることがありますが、子供たちの目線でメッセージ上のトラブルがなぜ起こるのか、どうしたら防ぐことができるのかを具体的に考える授業をしたい、と担当が考えました。架空のメッセージのやり取りを見ながら、問題点を探します。

「文の最後に『。』がつくと圧がある」「なんで『。』がだめなの?」「誘いを断る前に『ごめん』と打つ方がよい」「悪口はだめ」「同調しているのもダメ」「絵文字をつけると明るくなる」「絵文字の種類にもよるんじゃない?スタンプはどう?」・・・など、一人一人の感じ方が違うことを知り、その上でどうしたらよいかを考えていきました。もちろん、答えは一つではありません。

「彦成小スマホ・SNSマニュアル」では、①使用は寝る1時間前まで②相手の気持ちを考えた言葉を選ぶ③直接のコミュニケーションを大切に④身近な人に相談する、の4項目を示しています。①は自分の頑張りをご家族の協力で実行するものですが、②③④は相手があることで、これからの時代を生きる子供たちは、一生向き合っていかなければならないことです。まだ成長過程にある子供たちにとって、大人でも難しいこの課題に自分だけで対処していくのは到底困難です。ぜひ、お子様のスマホの使い方をこまめにご確認ください。ご家庭、学校で課題を共有し、子供たちを守っていきましょう。

「伝える」ということは、本来、自分の考えを言葉や行動で相手に送り届けることです。コミュニケーション上の「伝える」と「伝わる」のギャップは、私たち教員にとっても大きなテーマです。年齢に応じた内容で、ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただけるとありがたいです。今月もよろしくお願いいたします。



彦成小の2月～気力あふれる学校をめざして～

2/5 体育科自主研究発表会

市内外の先生方に
1年間の体育科の研究の成果を発表しました。



2/17 1・2年

子どもたちが楽しみにしていた「遠足」を実施しました。インフルエンザ等流行に伴う学級閉鎖により開催が危ぶまれましたが、保護者の皆様のご協力のもと無事実施できましたこと、感謝申し上げます。



2/20 通学班編成会議・一斉下校

令和8年度に向け、通学班の編成をおこないました。新しい通学班で、安全に、登校できるよう、しばらくの間見守りをお願いします。



《先生のおすすめの本》

校長 中川 こすえ



「あの子のきもち わたしのきもち」

藤枝 静暁 著

「心理学」という言葉を知っていますか？人の「心」をわかろうとする教科です。この本は「どうしてあんなことしてしまったのだろう」「もしかして怒っているかな」など、学校や家での「こんなときどうしたらいいの？」という場面を紹介しながらそのときの気持ちを解き明かす旅に招待してくれます。困ったときに読んで試してみるとよいかもしれません。

卒業証書授与式について

日時：令和8年3月24日（火）

- 受付 午前8時30分～午前8時50分
- 卒業生入場 午前 9時 5分
- 開式 午前 9時10分～
- 閉式 午前 11時00分
- 解散 午前 12時30分

※卒業生保護者の皆様は8時55分までには、必ずご着席いただきますようお願いいたします。
※当日、1～4年生は臨時休業日となります。各ご家庭で安全に過ごさようご配慮をお願いします。式に参加する学年は5・6年生です。

学校運営協議会・評価委員会を開催し、今年度の教育活動について評価をいただきました。詳細につきましては下記をご参照ください。

令和7年度 三郷市学校評価システム 本評価：学校関係者評価シート						
評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え	
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.81	4.00	学校だよりや学校HPにて目標達成に向けた取り組みが紹介されている。	
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.67		・行事反省を共有し、次年度に向け引き継ぎをおこなっている。 ・教科ごと、提案資料をデータベース化し、部会での話し合いを通して取り組みを実践できている。	
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.76		・学校課題「体育科」の研究に取り組み、3学期自主発表会を開催予定。 ・放課後彦成クラブ(13講座)を通して豊かな体験活動が進められている。	
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.67	4.00	・外部指導者を招き、学年の実態に応じた体験活動に取り組めた。 ・放課後彦成クラブ(13講座)を通して豊かな体験活動が進められている。 ・三郷市わくわくデリバリー教室を行い、高学年児童に「走り方教室」を実施できた。	
	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.95		・倫理確立委員会や打ち合わせなどの事例研修をとおり、不祥事防止を自分事としてとらえるよい機会となっている。	
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.90		・学校課題研修(体育)や月例授業、個人研究授業等とおして、教科指導の研究に取り組むことができた。 ・年間の計画にそった研修が、組織的・効率的に進められた。 ・ICT機器の効果的活用についての研究を次年度も継続していく。	
授業等の状況	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.10		・学期末に「学力強化週間」を設定し、高学年を中心に基礎基本(国語・算数)の力を高めた。	
	8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.67		・学年の実態に応じ、授業規律について共通理解を図り、指導が実践されている。	
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.81		・教材研究の時間を確保することにより、授業での学びが充実した。	
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.67	3.88	・学校図書館の計画的な活用を促し、読書活動を推進することができた。	
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.48	3.88	・日常的な本の貸し出しに加え、読み聞かせボランティアによる読み聞かせや北部図書館による読書活動、全国読書キャラバンによる移動図書館での本の貸し出し等、読書に親しむ環境づくりを推進した。	
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.33	3.77	・早寝、早起き、朝ごはんの言葉の徹底や、給食食べ残し「0」キャンペーンによる食育指導等、取り組みを実施した。	
健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.52		・朝や休み時間による「ローテーション運動」を充実させ、子どもたちが楽しみながら運動できる環境づくりに努めた。	
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.95	4.00	・あいさつ運動をおして健全な心と体の育成に取り組んだ。 ・道徳授業を中心とした、情操教育を行い、児童の道徳性を養うことができた。	
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.52		・家庭との連携をおして、道徳的な判断力を養うことができた。	
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.52		・職員会議や校内研修での指導を通して、職員の規範意識の高揚に努めた。 ・若手教員への指導を目的とした「育成塾」を実施し、指導力の向上を図った。	
	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.81		・日々の生活の中で「挨拶」について指導を徹底し、実践できている。	
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう指導している。★	3.71	4.00	・学級指導の中で、各担任が適切に指導を行っている。	
指導・管理の状況	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.62		・学校だけでは対応が難しいケースが多く、SSWやSC等と連携し支援を進めている。 ・毎月の生徒指導委員会にて学年や各クラスの課題を共有、相談ができる場を設け、対応にあたることできた。 ・保護者との面談はもちろんのこと、SSWやSC、児童相談所・子ども家庭センター、吉川警察署等と連携し、各対応に応じている。	
	20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.86		・引き続き、管理職による教室訪問や、教科担任制等を生かし、児童の様子を確認していく。 ・担任が欠席時の様子の確認し、情報を共有することで、早期発見・対応に努める。	
	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.76		・安全教育に関するマニュアルを見直しつつ、自然災害時への避難・対応訓練を複数回実施した。	
	22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.90	4.00	・月一回の定期点検や管理職及び職員の日常的な見回りによる点検を行うことで、児童の安心・安全な環境づくりに努めた。	
	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・揭示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.90		・清掃時の無言清掃に取り組み、環境美化に努めた。 ・落ち葉掃きボランティアによる清掃活動や校舎外花壇における、花植え活動、グリーンカーテンづくりに計画的に取り組む環境美化に努めた。	
	24	学校は、定期的な安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.90	4.00	・管理職等が定期的に声掛けを行うことで、時間を意識し、計画的に仕事をすすめる意識を高めた。	
教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.71	4.00	・学校HPに関しては、毎日更新することで、学校への関心を高める事ができた。 ・地域自治体に協力をいただき、学校だよりの配布をおして地域に学校の取り組みを周知した。	
	26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.57		・保護者と学校が交流する場として「彦成しゃべり場」を学期に1回開催し、好評を得た。 ・落ち葉掃き、草取り、側溝清掃等、学校応援団ボランティアを募集し、環境美化に取り組めた。	
	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.62	4.00	・PTAと連携をし、「彦小まつり」「PTA資源回収」等無理なく進めることができた。	
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.62	4.00		
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.81	4.00		